

中学1年生のみなさん

はしか（麻しん）・風しんの予防接種を受けましょう。

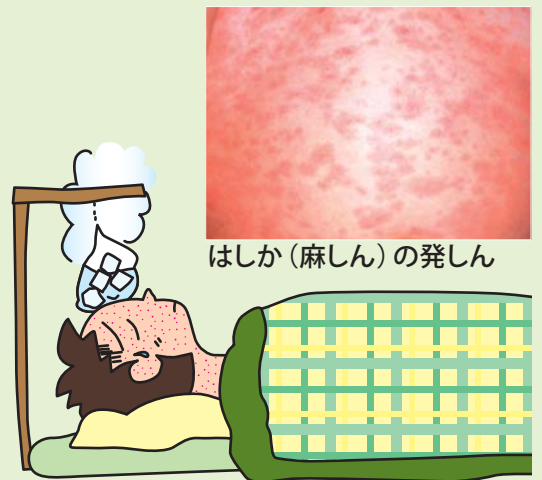
中学1年生のお子様をお持ちの保護者のみなさん、平成20年4月から、中学1年生に相当する年齢の人は、はしか（麻しん）・風しんの予防接種を受けることになりました。過去に一度接種を受けている人も、もう一度接種を受けてください。

注：中学1年生に相当する年齢の人とは平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの人です。

はしか（麻しん）や風しんってどんな病気？

はしか（麻しん）は、ウイルスに感染した後、約10～12日間の無症状の期間（潜伏期）を経て、熱・せき・鼻水などの症状が出はじめます。数日すると、首すじ・顔から赤い発しん（ぶつぶつ）が出はじめ、熱も高熱となり発しんは全身に広がります。38～39℃台の熱は1週間から10日程度続くことがあります。とてもうつりやすく、免疫がないと大人もかかります。

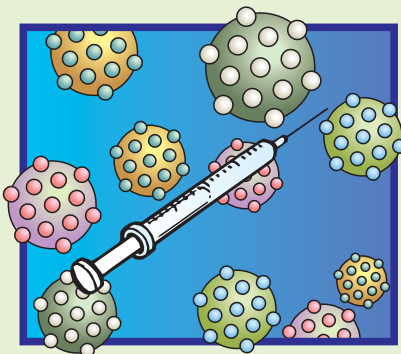
はしか（麻しん）にかかると肺炎や脳炎を引き起こすことがあり、1000人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。さらに、10年ほどしてから「亜急性硬化性全脳炎」という重い脳炎が10万人に1人の割合で発生することが知られています。



はしか（麻しん）の発しん

風しんも、発熱と全身に淡い発しんがでる感染症です。症状は、はしか（麻しん）より軽いですが、妊婦さんが妊娠初期にかかると、おなかの中の赤ちゃんが感染し、心臓の病気になったり、目や耳に障害を生じたりすることがあります。この病気を、「先天性風しん症候群」と言います。

はしか（麻しん）や風しんの予防は？



はしか（麻しん）・風しんの予防は、予防接種を受けることです。現在は、はしか（麻しん）と風しんの両方を予防する麻しん風しん混合ワクチンがあります。

2007年春に続いて、2008年も10代から20代を中心に、一万人を超えるはしか（麻しん）の全国流行が起きました。1人1人が確実に、はしか（麻しん）にかからないようにするためには、2回の接種を受けることが大切です。

<麻しん風しんワクチンの副反応について>

「2006年度麻しん風しん混合ワクチン接種後健康状況調査（速報）」によると、第1期（1歳児）のワクチン接種後には約22%に発熱、約6.6%に発しんが認められ、第2期（5～6歳）では、約8%に発熱、約1.7%に発しんが認められたとの報告がなされていますが、発熱や発しんはいずれも1～3日程度で治ります。また、100万～150万接種に1回以下の極めてまれな割合で、接種後の脳炎がおきることが知られています。万が一、接種後に心配な症状が認められた場合は、接種医あるいはかかりつけ医を受診してください。なお、接種に伴う健康被害が発生した場合は、法律に基づいた救済があります。

予防接種の費用は？



住んでいる市区町村が、負担してくれます。

一般に、はしか（麻しん）・風しんの予防接種を受けるには、1万円から2万円程度の費用がかかります。

ですが、中学1年生の1年間に限り、住んでいる市区町村から通常かかる費用の全部または一部についての助成を受けることができます。費用や接種を受ける方法については、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

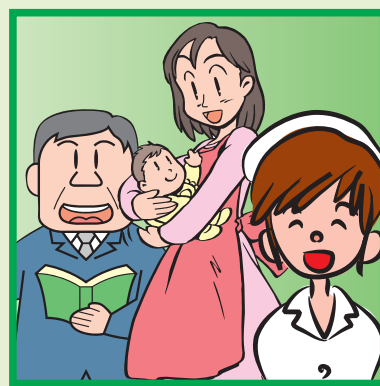
就職や進学の際に必要なですか？

必要な場合があります。

子どもや病気の人などはしか（麻しん）にかかると重症化しやすい人と接する機会の多い医療・福祉や教育・保育関係などの職業に就く人には、自らが感染源にならないようはしか（麻しん）や風しんに対する免疫を持っていることが求められます。

このような職業に就くために必要な実習への参加の際には、はしか（麻しん）に対する免疫を持っていることが条件となることがありますので、過去にはしか（麻しん）や風しんにかかったことが明らかでない場合には、合計2回の予防接種を済ませておくことが大切です。

また、アメリカの学校では、入学の際に、はしか（麻しん）や風しんの予防接種を2回済ませていることが求められています。



外国ではしか（麻しん）になると大変って本当ですか？



非常に大変です。

アメリカやカナダ、韓国などでは、はしか（麻しん）対策が進み、「はしか（麻しん）の患者は国内にはいない」と宣言しています。こういった国の滞在中にはしか（麻しん）になると、感染の拡大防止のため、発症した本人の移動制限だけでなく、同行者の移動も厳しく制限されることがあります。

**だから、自分も、みんなも
はしかにならない！はしかにさせない！**

もっと詳しく知りたい方はこちら

感染症情報センター

検索

国立感染症研究所 感染症情報センター ホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>